認定看護師の

## 救急看護 認定看護師の 活動について

晶子 4階北病棟 副看護師長 當田

救急看護認定看護師は、救急医療現場における迅速 な救命技術の提供、救急患者の緊急度や重症度の見極 め(トリアージ)、災害時における急性期の医療ニーズ に対するケアなどを行います。私は、2010年に救急看 護認定看護師になりました。現在、取り組んでいる活動 を紹介します。



患者の心臓や呼吸が止まってしまった場合、正しい 救命処置を身に付けた医療者が一斉に集まって協力す ると必要な処置を素早く行うことができます。そこで、 病院のスタッフを対象に1次救命処置(救急患者を発見 した時に行う心臓マッサージなどの対応)の研修会を 行っています。昨年は、看護師や事務スタッフ、薬剤師 等、計50名の参加がありました。また、当院では、日 本救急医学会の認定コースである2次救命処置コース (医療従事者のための蘇生トレーニングコース)を年2 回行っています。その時、コースが上手くいくように調 整したり参加者の指導を行っています。

## 2. 急変を防ぐための院内ラウンド

患者の急変には前兆(呼吸が早くなる、脈が速くなる 等)があり、それを迅速に捉えて対応することが大切で す。当院では、医師や集中ケア認定看護師、救急看護認 定看護師がチームを組んで週1回、病棟をラウンドして 急変の早期発見、予防に取り組んでいます。呼吸や脈拍、 血圧の変動がある患者や手術後の患者を訪室し、全身 状態の観察や検査結果を確認し、観察ポイントや症状 の考え方などを担当看護師へ伝えます。医師と一緒にラ ウンドしますので、医師からのアドバイスを聞いてケ アに活かすことが出来ます。昨年はラウンドにより約 100名の患者に対応しました。

## 3. 災害に関する活動

救急看護認定看護師は、災害時のケアも行います。災 害への備えとして、2011年~2014年に当院の災害訓 練を企画し、6回の訓練を行いました。訓練では、院内 外から延べ約400人の医療者の参加がありました。ま た、同じ時期に島根県看護協会の災害委員として活動 し、島根県災害支援ナースのマニュアル改訂に携わり ました。



今年の熊本地震では、4月17日~19日にDMAT(災 害派遣医療チーム)として熊本赤十字病院を拠点に活動 を行いました。自衛隊車両で被災地内の患者を被災地外 の病院まで搬送する任務や、被災地内の保健所に行き、 地域の現状や支援の状況について情報を収集する任務 に参加しました。

救急看護認定看護師になり今年で6年目を迎えます。 質の高い救急看護が実践できるように研鑽してまいり ます。

